

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人たんぼぼ福祉会)
 事業所名 (地域密着型特別養護老人ホームたんぼぼ鶴の里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベット株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成30年10月9日	3台	平成30年9月25日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<p>平成30年10月9日のパラマウントベット株式会社 担当者からの説明を受け、運用を開始。導入補助いただいた3台を当初、昼夜逆転などで夜間に動きのあるご利用者に使用。昨年同様に、入居初期の方への利用による行動パターンの確認。夜間多動の方への見守り補助として利用している。また、昨年度「愛知県介護事業所 ICT 導入支援事業」により、施設にて使用している介護ソフト「絆システム」と眠りスキヤンの連動を図り、睡眠や覚醒、呼吸、心拍など介護記録への自動記録を始めた。</p>				
【介護ロボットの導入効果】				
① 介護業務の効率化				
<p>データーをもとにユニット会議や担当者会議など様々な場所で検討利用している。24時間の行動把握を効率的に出来てきている。</p>				
② 介護従事者の負担軽減				
<p>行動を把握することで、医師をはじめとする多職種との連携により対応方法を考えられ、結果落ち着いた夜間時間を過ごされるご利用者が増えた。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人たんぼぼ福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームたんぼぼ加茂の甲)

サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
H31年 3月 5日	10台	H30年 9月 10日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>特養入居者の比較的体動の多い利用者に使用(1ユニット1名に1台)10ユニット 使用状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目の行き届いた見守り・タイムリーなケア ベット上の入居者の状態をリアルタイムでモニターリングを行い、入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)の変化時や呼吸数の大幅な変動時にパソコンに通知する。 2. 変動時の記録をもとに個別ケア・ご家族やスタッフなどと共有する。 3. 生活状況が見える化し、サービスの質の改善や体調変化を観察 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入居者の見守り 居室での「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」が分かるので、スタッフの少ない夜間も、入居者の状況に合わせた介護できる。 2. 入居者の生活や行動に合わせた介護 目が覚めているときに介護することで、介護の優先順位づけ、入居者の安心・安全・満足度の向上に繋がっている。 3. スタッフの労働環境の改善 居室での状況が見える化されることで、スタッフの精神的負担が減り、効率的な業務になっている。 4. 生活状況の見える化 睡眠状況・生活習慣が確認でき睡眠日誌が管理できている。 5. 関係者との情報共有 ご家族や施設CMへの報告、スタッフ間での情報共有、また睡眠導入剤を投与した効果検証などに役立っている。 6. 生活状況の見える化により、サービスの改善や体調変化の気づきができた。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)
 事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年10月1日	3台	H30年10月1日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・当該導入機を含め、施設(特別養護老人ホーム・ショートステイ)内の眠りスキャン整備台数が32台となり、各ユニットに2台以上を配置している。ユニット内ではiPad、介護ステーションではPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。また、介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況(在床・心拍・呼吸)やアラート設定(離床・呼吸や心拍の増減)した情報が自動記録できる仕組みとなっている。

<活用方法>

- ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- ・睡眠状況を把握し、朝の起床を適切な時間に促す。
- ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- ・入所初期に使用し、睡眠リズムをはじめとして生活状況の把握を行う。
- ・看取り期に使用し、睡眠・心拍・呼吸状態のデータに基づいた対応を行う。
- ・認知症等の精神不安定な利用者に使用し、夜間の異常行動をタイムリーに把握する。
- ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- ・利用者様の安眠が保てるようになった。
- ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- ・呼吸や心拍数の状況から、熱発や痰がらみ等の体調変化を把握できるようになった。
- ・看取り介護時、冷静な対応をとることができた。
- ・看取り期にデータを活用して臨終期を予測し、最期の場面の家族立会いが実現できた。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)

事業所名 (明範荘短期入所生活介護)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
H30年10月1日	1台	H30年10月1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該導入機を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイ）内の眠りスキャン整備台数が32台となり、各ユニットに2台以上を配置している。ユニット内ではiPad、介護ステーションではPCを利用して睡眠状況等をモニターしている。また、介護記録ソフトと連携し、介護記録に定時巡回状況（在床・心拍・呼吸）やアラート設定（離床・呼吸や心拍の増減）した情報が自動記録できる仕組みとなっている。 <p><活用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。 ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。 ・睡眠状況を把握し、朝の起床を適切な時間に促す。 ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。 ・利用時に使用し、睡眠リズムをはじめとして生活状況の把握を行う。 ・認知症等の精神不安定な利用者に使用し、夜間の異常行動をタイムリーに把握する。 ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。 ・利用者様の安眠が保てるようになった。 ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。 ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。 ・呼吸や心拍数の状況から、熱発や痰がらみ等の体調変化を把握できるようになった。 ・ケアマネジャーや家族へ実際の睡眠状況をデータ提供できた。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人ケアマクス)
 事業所名 (ショートステイケアマクス柴田)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		眠り scan	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年10月24日	1	30年10月5日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>夜間の睡眠状態をモニタリングし、夜間の覚醒に合わせて巡視を行い介護業務に反映している。通信が不安定で、エラーの際には定期巡視に切り替え対応している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>エラーが頻回に起こる為、現在、使用頻度は減っているが、睡眠日誌を参考に夜間の巡視時間を調整している。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年 9月27日	4	平成30年9月27日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

新規の入居者、行動障害の著名な入居者、終末期ケアの入居者に使用。ベッドマットの下に敷き、24時間ユニットのパソコン画面、iPad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の場合は主に夜間帯、新規入居者・終末期ケアの入居者の場合は終日使用。睡眠、呼吸、心拍動作状況のリアルモニタリングを実施、継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、新規入居者の行動把握、終末期ケアの身体状況の把握により異常の早期発見が可能になっている。

【介護ロボットの導入効果】

モニタリングされた入所者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な入居者に対しても根拠を立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析から日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされ、行動障害の軽減も見受けられる。新規入居者も入所前のアセスメントでは把握しにくい細かな情報まで読み取れることで少しでも今までの生活パターンに近づけたケアの実現が可能になってきている。

終末期ケアでは変化しやすい入居者の身体状況がリアルタイムで確認できることで、介護従事者の見守りに対する不安軽減につながっている。

加えて、状態変化の把握が迅速に行えることで、ご家族への情報提供がスムーズに行える。それに伴い、ご家族が最期の場面に立ち会える＝間に合うことにもつながっている面あり。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 来光会)

事業所名 (介護老人福祉施設いわと)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		メーティスPRO (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月16日	1台	平成30年11月16日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ベッドからの立ち上がりなどで転落、転倒の危険性がある方を選んで使用する。 その方の状態が落ち着いたり、より見守りセンサーが必要な方がいたら使用する方を変更して使用する。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>センサーマットをいくつか使用しており、その中でベッドからの転落や転落の危険がある方に使用する。起き上がりや、端座位になった時点でセンサーが鳴るのですぐに駆け付けることができるので、センサーマットと比べると事故になる確率が大きく減った。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (デイパーク大府大府短期入所事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年11月26日	2台	H30年11月26日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) をデイパーク大府短期入所事業所の居室に配置し、誤作動も少なく、ご利用者に合わせてうまく活用ができております。ナースコールを押せない方・認知症等で夜間 特別な動きをされる方の見守りのベットとして利用しております。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入利用することで事前に動きがわかり、事故発生の防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減に大変役に立っております。着実に事業所における事故の件数も減少傾向にあります。</p> <p>また不必要な訪室により睡眠を妨げることや睡眠の質の改善にも大変役立っております。とても効果的な導入であり職員一同満足しております。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (第一老人デイサービスセンターデイパーク大府)
 サービス種別 (通所介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年10月25日	2台	H30年10月25日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を第一老人デイサービスセンターデイパーク大府のデイサービス静養室に配置し、長時間座位の車椅子上で維持が困難な方や体調不良を訴える方などの毎日活用しております。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入することで、ご利用者からは大変好評で体調が悪い時、休憩用のベットとして利用ができ、日中のご利用の中で大変効果的に活用できております。センサーベットの為動き出しが確認でき事故の発生防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減につながり、職員のストレスの軽減にもつながっております。また不必要な訪室がへり睡眠の妨げにも役立っております。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (第二老人デイサービスセンターデイパーク大府)
 サービス種別 (通所介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年9月28日	2台	H30年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を第二老人デイサービスセンターデイパーク大府のデイサービス静養室に配置し、静養室 8 台中 2 台を使用しております。デイご利用中の日中に長時間座位が困難な方だとか体調不良の方などの静養ベットとして活用しております。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1) を導入利用することで、その方の体調や動き方に応じ普通のベットと見守りベットと使い分けて使用しております。こちらのデイでも事故の発生防止や職員の見守りに対する業務負担の軽減やストレス軽減にもつながっており導入後大変好評で職員は大変満足しております。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人昭徳会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム安立荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		エスパシア (離床センサーCATCHⅢ搭載電動ベッド)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年10月26日	8台	H30年10月26日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>継続的に、以下の入居者の方を対象に使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症が重度で歩行のふらつきが時々見られる方 ・夜間帯に比較的頻回に、ベッド脇のポータブルトイレを利用される方やトイレのために起きられる方 <p>センサーの段階は、全て「起き上がり」(最も早い段階でコールが鳴る)で反応するように設定している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒や転落のリスクがある入居者の方に使用することで、常に傍で見守りを要しない状態となり、職員の精神的負担軽減になっている。 ・機器の導入により過度な訪室が減ったことで身体的負担軽減になっている。 ・床設置センサーマットでは転倒リスクのある方も歩行してから駆け付けていたが、機器の導入により立ち上がりなどの早い段階で駆け付けられるようになり転倒リスク軽減になっている。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人愛生館)
 事業所名 (老人保健施設ひまわり)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 25 日	4	平成 30 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 入所者対象として、4ユニットに各1台ずつ配置している（平成 29 年度購入分をあわせると4ユニットに各2台ずつ配置）</p> <p>①看取りとなった利用者のバイタル等の状態の把握 ②夜間不穏行動がある入所者の睡眠・覚醒・離床等の状態把握 ③夜間の排泄パターンの把握 ④夜間等の転倒転落のリスクが高い入所者の事故防止</p> <p>主に上記4つの目的で活用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①看取り利用者に使用、呼吸数減少時の把握ができ家族へ速やかに連絡し家族に見守られながら最期を看取ることができた。 ②眠りの深さ、眠りの時間、パターンの把握ができ、次のアプローチの材料（薬の調整・介護ケアの対応）になる。 ③離床検知システムを活用することで、排泄パターンが把握でき、排泄支援の評価に役立った。 ④ベッドからの離床が分かり、転倒・転落事故が未然に防げた。 ⑤終末期になると覚醒時間が短くなり水分補給のタイミングが難しいが、眠りスキャンを使用することで覚醒は把握でき、タイムリーに水分補給ができる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハラー)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月26日	4台	平成30年11月26日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>・センサーベッド導入以前から使用しているセンサーマットと今回、導入したセンサーベッドを併用し、使用。その方の状態に合わせてセンサーマット、センサーベッドを使い分け、事故防止等に努めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. センサーベッド使用者の選定。 (ベッドからの転落、転倒リスクが高い方や認知症で徘徊がみられる方に使用。) 2. センサーベッド使用者の導入後の評価と定期的に会議を実施。 3. 転倒、転落リスク等が高い方を再検証し、必要であればベッド変更を実施。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>・元々、導入していたセンサーマットと今回、導入したセンサーベッドをその方の状態に合わせて使い分けている。定期的に事故分析や会議を行うようになってから、以前よりも職員が注意して、各入所者の行動を観察するようになった。</p> <p>・定期的に事故報告書やヒヤリハット等を活用し、事故分析を実施。各入所者の動きに合わせて通知モード(動き出し、起き上がり、端座位)を変更出来るが、上記の分析内容を踏まえ随時、動き出しモードの見直し、変更等を行い、事故防止に努めている。職員が早期に対応する事が出来、ベッド周囲での転倒、転落事故が減少している。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステムM2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月26日	2台	平成30年10月26日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ロボット型ベッドの使用効果についての表を作成、センサー効果・改善(誤報の有無)夜間の転倒リスクの軽減・利用者の状況把握に関する事を、毎日チェック表に記録している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りケアシステムM2は、機能性が進化したベッド型ロボットとして導入し、例えば頻回に離床する利用者の行動を自動感知システムが段階的に反応、センサーコールにつなげることで転倒等のリスク軽減に寄与している。また、ベッド移動等でいったん電源コードを抜いても、再度電源を入れれば自動的に前回の設定が再開され、職員の負担は軽減されている。液晶パネルはカラーで見やすく操作も簡単であることから、新規採用職員への操作指導も適正に実施することができる。利用者の体重管理も概ねシステムと連動できているので、栄養管理面での配慮につなげることも可能である。見守りケアシステムにはパソコン端末に連動する事で、ベッド上での動きを瞬時に知る機能も備えられており、さらに機能性を活用できるよう検討を進めていく。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 みどりの里)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊水園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
ベッド内蔵型見守りロボット		見守りケアシステム M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H30年 10月 23日	2台	H30年 10月 23日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 導入以降常時2台稼働している。長座位、端座位など利用者様の状況に合わせて設定を変え、利用者様の状態が落ち着いたり、ニーズに合わなければ他の利用者様への変更を検討し、導入効果を期待できる方に使用している。使用状況は毎月各フロアー介護主任がまとめ、チーフ会議で報告している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 ナースコールを自己にて押して職員を呼ぶことができない上に、自己にて離床すると転倒リスクが高い利用者様や入所直後や退院直後で様子観察が必要な方への対応など、なるべく早い段階で対応をすることで転倒防止に効果がある。 また、寝返りなどの体動と起き上がりの区別化を図れることで体動のみの誤報がなく職員の業務効率化につながっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 名古屋ライトハウス)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 瀬古第一マザー園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド(KA-N 1710F) (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月25日	6	平成30年10月25日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>① 立位が不安定でベッドからの転落事故の多い利用者様に使用。導入まではセンサーマット(床センサー)を使用していた。</p> <p>② 重度の認知症があり、ナースコールを押すことができない利用者様に使用。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ナースコールと連動しており、利用者様の体動や動作を検知して寮母室に通知されるため、ベッドから降りようとされるタイミングで訪室することができるようになり、転落事故が減少した。 ・ 夜間、他の利用者様の居室に入ってケアをしている間、フロア内の見守りが手薄になっており、転倒事故を未然に防ぐことができなかったが、ナースコールが鳴ることによって、夜勤職員3名のうちの誰かが駆け付けられるようになった。 ・ 利用者個々の状態に合わせてセンサーが反応するタイミングを設定することができるようになったため、誤作動で職員が訪室する回数が減少し、夜勤者の精神的苦痛の軽減につながっている。 ・ 事故を未然に防ぐことができるようになったことで、病院への受診の付き添い等の対応も減少し、結果として業務軽減に繋がった。 ・ センサーが反応することで、素早く利用者様の動きを検知することができ、結果として夜間の利用者様の失禁も減少した。その分、清拭や着替えのケアに割かれる時間も減り、職員の夜勤業務の負担軽減に繋がっている。 ・ 看とり対象者に対して使用することで、利用者の状態を把握することができ、夜勤者の精神的不安の軽減に繋がった。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 王寿會)
 事業所名 (特別養護老人ホーム幸王寿園)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 1 日	3 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入より 15 名の方に使用。 睡眠状況把握が行えた方から順次違う方の使用に変更を行っている。 12 名の方の睡眠傾向について把握が行えている。 看取り期の方に使用して睡眠・脈拍・覚醒の把握・ご家族様への状態説明に使用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況の把握を行う事により、トイレ誘導や巡回を必要時に必要な回数を行う事に繋がっており転倒・転落のリスク軽減が出来ている。 夜間の睡眠状況が良くない方には日中の安静時間調整の目安にもなり、体調を崩されることが減少しており、介護負担軽減に繋がっている。 看取り期の状態が数値やグラフで把握できるため、介護士の精神的不安軽減に繋がっている。 QOL 向上に繋がっている。 ・眠り SCAN の使用をご家族様に説明をすると安心して頂ける。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 王寿會)

事業所名 (グループホーム あおぞら)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 1 日	2 台	平成 30 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入より 10 名の方に使用。 睡眠・覚醒状況及びバイタルの把握を行っている。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間不眠傾向の方に使用を行い、睡眠状況の把握を行い、巡回やトイレ誘導時間の変更を行うと不眠が改善され転倒や転落のリスクが低下、また日中の覚醒時間が増加して排泄や入浴時の誘導がスムーズに行える回数が増加しており介護負担軽減に繋がっている。 ・覚醒時やバイタル低下時にアラーム通知もあり、看取り介護時に使用を行う事により状態変化の把握が適宜行えるため、職員の不安軽減に大きな効果を発揮している。またご家族の方にも使用を説明すると安心をして頂ける。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人瀬戸中央会)

事業所名 (特別養護老人ホームつばき)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams 介護	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月9日	2台	平成30年10月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ aams は、ベッドよりの転落・転倒防止に使用している ・ 入居者様の看取り時には、心拍のチェックとして使用している ・ 睡眠状態、呼吸状態のチェックとして活用している 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベッド上での体動を感知することで、事故（ベッドよりの転落等）を未然に防ぐことができ、事故（ベッドよりの転落等）の発生はない ・ 看取り時の介護者（特に夜勤者）の心身の負担を軽減している ・ 睡眠状態、呼吸状態が波形グラフで確認でき、看護師不在の夜勤帯の健康状態の確認と医師への報告（上申）がグラフを用いて簡単（スムーズ）にできるようになった 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人葆光会)

事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守りケアシステム M2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 10 月 24 日	8 台	平成 30 年 10 月 24 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>昨年度より使用している。ご利用者様の状況に合わせて見守りが必要となっている8名の利用者を対象に常時試用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット式センサーと違い利用者様が予想範囲外の位置からベッドを降りる際に起きていた事故は防止できている。 ・4段階のモード(動き出し、起き上がり、端座位、離床)それぞれに3段階の感度が決められる為、様々な状態の利用者のシチュエーションほぼ全てに対応できおりケアプランも立て易くなった。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 12 月 6 日	6	平成 30 年 9 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方 ・ 終末期により、常時観察が必要となった方 ・ 新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に使用 <p>眠りSCANから得られた睡眠データを活用して利用者のケアプラン立案の参考としている</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を実施</p> <p>終末期の方、体調不良の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため職員に安心感を与えることができている</p> <p>また、ベッド上での覚醒もアラートを設定できるため転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、転倒リスクを避けることができている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月16日	10	平成30年9月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方 ・ 終末期により、常時観察が必要となった方 ・ 新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に使用 <p>眠りSCANから得られた睡眠データを活用して利用者のケアプラン立案の参考としている</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を実施</p> <p>終末期の方、体調不良の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため職員に安心感を与えることができている</p> <p>また、ベッド上での覚醒もアラートを設定できるため転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、転倒リスクを避けることができている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (さくら福祉事業会)

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 21 日	2	平成 30 年 9 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む疾患により転倒及び転落リスクの高い方 ・終末期により、常時観察が必要となった方 ・新規入所等で睡眠リズムが把握できない方などを中心に使用 <p>眠りSCANから得られた睡眠データを活用して利用者のケアプラン立案の参考としている</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者の睡眠リズムを把握することで、入眠への促し方、睡眠が浅い方には日中の活動強度を高める支援を実施</p> <p>終末期の方、体調不良の方など常時監視が必要な方でも、呼吸や心拍数をリアルタイムに確認することができるため職員に安心感を与えることができている</p> <p>また、ベッド上での覚醒もアラートを設定できるため転倒や転落リスクが高い方には非常に効果が高く、転倒リスクを避けることができている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人東加茂福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホーム巴の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月18日	8	平成30年9月18日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上の動き(動き出し・起き上がり・端座位)を介護ロボットが判断し、適切なタイミングでナースコールを発報する。 ・入居者に応じて、発報のタイミング(動き出し・起き上がり・端座位)を設定。 ・転倒リスクが高い入居者に使用。 ・職員が少ない時間帯に、従来のセンサーマットよりも早いタイミングでナースコールを発報させるように使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のマット型センサでは難しかった、離床前の早い段階(動き出し、起き上がり、端座位)を検知し、既存のナースコールシステムに通知することができるようになった。 ・入居者に合わせて通知のタイミングを設定することにより、職員が優先順位をつけて対応しやすくなった。 ・特に人手の少ない夜間帯において、入居者の状況を把握することで職員の身体的・精神的負担が軽減されたと感じる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人東加茂福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム石野の里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り・コミュニケーション		高齢者見守りシステム「見守りライフ」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月18日	2	平成30年9月18日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上の動き(動き出し・起き上がり・端座位)を介護ロボットが判断し、適切なタイミングでナースコールを発報する。 ・入居者に応じて、発報のタイミング(動き出し・起き上がり・端座位)を設定。 ・転倒リスクが高い入居者に使用。 ・職員が少ない時間帯に、従来のセンサーマットよりも早いタイミングでナースコールを発報させるように使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のマット型センサでは難しかった、離床前の早い段階(動き出し、起き上がり、端座位)を検知し、既存のナースコールシステムに通知することができるようになった。 ・入居者に合わせて通知のタイミングを設定することにより、職員が優先順位をつけて対応しやすくなった。 ・特に人手の少ない夜間帯において、入居者の状況を把握することで職員の身体的・精神的負担が軽減されたと感じる。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会医療法人財団新和会)
 事業所名 (介護老人保健施設さとまち)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成31年3月27日	9台	平成30年11月5日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

平成31年3月27日より一般棟で5台、認知棟で4台の眠りSCANの使用を開始した。導入当初は、夜間覚醒することが多い利用者を対象に使用し、夜間の睡眠状態の把握と、離床センサーとしての活用が主な使用用途であったが、心拍数や呼吸数のデータも見る事が可能であることから、誤嚥性肺炎の早期発見と、呼吸器リハビリによる排痰での改善を試みた。

また、ターミナル期に入る利用者様に使用することで、状態の変化を早期発見し、対応できる体制となるよう試みた。

【介護ロボットの導入効果】

誤嚥性肺炎については、呼吸状態の変化を明らかに捉えることが出来、早い段階で施設医師による診察につなげることが出来た。また、その結果としてリハビリ職による呼吸器リハビリを導入し、排痰を促すことで状態の改善を図ることが出来た。

残念ながら、誤嚥性肺炎の予兆を捉えることが現段階ではできていないため、事後対応による状態改善を図ることしかできておりませんが、データを集めることで予兆を捉えることが出来れば、誤嚥性肺炎を防ぐことが可能となると考えられるため、今後もデータを精査していきたいと考えている。

次に、ターミナル期に入った利用者様への眠りスキャンの利用については、1例しか得ることが出来ていないが、お亡くなりになられた前日の夕方より、呼吸の異常値が見られたため、ご家族に報告することで、ご家族が揃って死に目に立ち会えるという結果になった。

まだ1例のみなのではっきりしたことは言えないが、死の前には呼吸および心拍に異常な数値がでることが分かったので、他の症例が得られれば、ターミナル期の介護職としての対応、およびご家族による対応にもデータが活用できると考えられ、全員がより納得感のあるターミナル期のケアを行えるようになるのではないかと考えている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 西口整形外科)

事業所名 (介護老人保健施設 千音寺)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守り支援システム 「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
31年 10月 31日	8	31年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>特に居室が職員待機の状態や見守りの行き届きにくい場所の居室で常時使用している。すべての時間帯で常時眠り SCAN の機能を利用しているが、特に夜間帯、早朝等職員の見守りが手薄になりやすい時間帯で必要に応じて離床アラーム機能も使用し、転倒・転落の予防に使用している。</p> <p>眠り状況・呼吸状況・体動の状況をデータとして可視化し確認することで夜間等のパット交換トイレ誘導等のタイミングを把握し、安眠の確保、職員の効率的な業務に役立てている。体調不良で眠れなかったと話される方の睡眠状況なども振り返ることができており一人一人の睡眠の状況の把握にも役立てている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>入居者様が動かれた際にアラームが鳴る設定を個別ですることにより効率よく見守りが行え、転倒や転落の防止に役立っている。</p> <p>夜間などの睡眠や体動のデータが見れるため、パット交換やトイレ誘導のタイミングを効率よく設定できるので、不必要な時間に訪室しなくてもよく業務の効率化が図れている。</p> <p>呼吸状態、脈拍数もデータで見れるため、体調の変化の早期対応に役立てれるように看護部とも共同で情報を確認している。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 西口整形外科)

事業所名 (グループホーム千音寺)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		見守り支援システム 「眠り SCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
31年 10月 31日	2	31年 10月 31日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>特に居室が職員待機の状態や見守りの行き届きにくい場所の居室で常時使用している。すべての時間帯で常時眠り SCAN の機能を利用しているが、特に夜間帯、早朝等職員の見守りが手薄になりやすい時間帯で必要に応じて離床アラーム機能も使用し、転倒・転落の予防に使用している。</p> <p>眠り状況・呼吸状況・体動の状況をデータとして可視化し確認することで夜間等のパット交換トイレ誘導等のタイミングを把握し、安眠の確保、職員の効率的な業務に役立てている。</p> <p>体調不良で眠れなかったと話される方の睡眠状況なども振り返ることができており一人一人の睡眠の状況の把握にも役立てている。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>入居者様が動かれた際にアラームが鳴る設定を個別ですることにより効率よく見守りが行え、転倒や転落の防止に役立っている。</p> <p>夜間などの睡眠や体動のデータが見れるため、パット交換やトイレ誘導のタイミングを効率よく設定できるので、不必要な時間に訪室しなくてもよく業務の効率化が図れている。</p> <p>呼吸状態、脈拍数もデータで見れるため、体調の変化の早期対応に役立てれるように看護部とも共同で情報を確認している。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (なごみの郷ショートステイ)

サービス種別 (短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 12 月 13 日	1 台	平成 30 年 11 月 5 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>必要度の高い利用者や利用日数の比較的長い利用者に対し使用している。 既に記録関係は ICT 化が完了しており、記録用に使用する ipad やパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。 その他、一部離床センサーに近い形での活用も可能であることから、睡眠状況の把握に止まらず、センサー機能としても有効活用している。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>ショートステイの場合、在宅からの環境の変化により、寝付けない利用者もいるため、睡眠されている場合には、せつかくの睡眠を妨げることは避けたいことから、睡眠を妨げることのない対応により、安眠を得られたという効果は大きい。過度な居室への訪室が減少したことも睡眠を守る一助になっている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (グループホームなごみの郷)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成30年12月13日	2台	平成30年11月5日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。 パソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。 その他、心拍数、呼吸数、動作状況をリアルタイムで把握し、業務効率化に繋げている。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>睡眠、覚醒データを一定期間把握できることで、その方の睡眠リズムを把握することができ、当該ロボットを他の入居者が使用している際にも、ある程度の夜間帯の訪室時間やトイレ介助等の目安を把握することができた。これにより、安眠だけでなく、スタッフの夜間帯業務の効率化という効果があった。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人和敬会)

事業所名 (特別養護老人ホームなごみの郷)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 12 月 13 日	3 台	平成 30 年 11 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

導入ユニットは特定せず、必要度の高い入居者に対し使用している。

既に記録関係は ICT 化が完了しており、記録用に使用する ipad やパソコンを使用し、対象者の睡眠状況や覚醒状況を確認している。また、看取り期の入居者についても、スタッフの精神的な安心を得られるような活用がされている。

その他、一部離床センサーに近い形での活用も可能であることから、睡眠状況の把握に止まらず、センサー機能としても有効活用している。

【介護ロボットの導入効果】

夜間帯における、定時の体位交換などについて、これまでは入居者の睡眠を妨げることもあったが、導入により睡眠を妨げることのない対応が多くみられるようになり、入居者の安眠に繋がっている。スタッフについても、過度な居室への訪室が減少したという効果もあった。また、特に看取り期の方へのケアに有効的に使用している。

上記効果により、「安眠を妨げないことによる安心」、「心拍数や呼吸数をリアルタイムで把握できることで、看取り期の入居者に対する安心」等が得られ、スタッフの精神的な負担軽減効果もあった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 百陽会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム アルコール岡崎六名)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		DreamCare リスクマネジメント&介護スタッフ支援システム(見守りシステム)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 27 日	3 台	平成 30 年 9 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>ご利用者の各部屋に 3 台を設置し、職員の待機場所から、パソコンで居室内の状況を監理している。ご入居者のバイタル反応の異変があった場合に部屋を訪問し、確認をする。またはスクリーンショットの静止画で様子を確認する。</p> <p>また、過去の離床、臥床のデータも残っているため、その方の日頃の 1 日の生活リズムについても確認している。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p><バイタル把握機能></p> <p>一覧画面でフロア内全てのご利用者の状態が一目で確認できるため、安心感がある。特に人員の少ない夜勤では、一目で 20 名 (2 階フロア) 全ての方が平穏かどうかの確認ができる。</p> <p>また、管理者としては、事務所や自宅等、離れた位置からでもご利用者が平穏かどうかの確認ができる。例えば看取り介護時に自宅から対象者の状態を確認することもでき、役立っている。</p>			
<p><スクリーンショット機能></p> <p>動きの多い方や、緊急度が少ない動作お知らせ機能反応の多い方は、スクリーンショットの静止画で確認でき、訪室の手間を減らすことができている。</p>			
<p><活動量データ記録></p> <p>活動量により、毎日の離床、臥床時間が自動記録されているため、その方の 1 日の生活リズムを掴むことができる。生活リズムの変化を分析することもできている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (特別養護老人ホーム誠和荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年9月30日	8台	30年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>①ナースコールシステムと連動させて、利用者の離床状況を把握している。</p> <p>②下記の症状がある方を対象に、優先して使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼夜逆転の方 ・認知症にてトイレの場所がわからない方 ・歩行不安定のため転倒リスクが高い方 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの高さを調整することにより、従来のベッドよりさらに低床となり、利用者の転倒・転落のリスク軽減となった。 ・ベッドの高さが調整できるので、職員の腰痛予防につながっている。 ・ナースコールとの連動により、利用者の離床状況の把握ができるため、夜間、職員体制が少ない状況での、職員の心理的負担軽減につながっている。また、家族に、夜間の利用者の離床状況を細かく説明できるようになった。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 八起社)
 事業所名 (誠和荘短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		エスパシアシリーズ3モーター電動ベッド (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年9月30日	1台	30年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ①ナースコールシステムと連動させて、利用者の離床状況を把握している。
- ②下記の症状がある方を対象に、優先して使用している。
- ・昼夜逆転の方
 - ・認知症にてトイレの場所がわからない方
 - ・歩行不安定のため転倒リスクが高い方

【介護ロボットの導入効果】

- ・ベッドの高さを調整することにより、従来のベッドよりさらに低床となり、利用者の転倒・転落のリスク軽減となった。
- ・ベッドの高さが調整できるので、職員の腰痛予防につながっている。
- ・ナースコールとの連動により、利用者の離床状況の把握ができるため、夜間、職員体制が少ない状況での、職員の心理的負担軽減につながっている。また、家族に、夜間の利用者の離床状況を細かく説明できるようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知慈恵会)

事業所名 (特別養護老人ホームあいふるの里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシアシリーズベッド (パラマウントベッド社製) 離床 CATCHIII内蔵	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 16 日	3 台	平成 30 年 11 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサー内蔵ベッドを 3 台導入し、2 階フロアで 1 台、3 階フロアで 2 台使用しています。 ・ご利用者の転落・転倒事故の防止を目的として、ベッドからの転落の危険性があり、センサー対応かつ低床対応が必要な方、夜間多動傾向にある方を対象に使用しています。 ・現時点では定員 80 名に対して 3 台の導入実績となることから、ご利用者の状況に応じて、ベッドを入れ替えながら転落・転倒事故の防止に努めています。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内蔵センサーは細かな設定 (座位・起き上がり等) ができることから、個々に応じた設定で見守りが可能となり、誤作動による頻回な訪室が軽減され、職員の負担軽減となっています。 ・内蔵センサーの感度が的確なことから、事故に繋がる前にナースコールで訪室することができるため、導入ベッド 3 台を使用しているご利用者の転倒・転落事故は発生していません。(昨年度も同様に事故は発生していません。) 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 共愛会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 豊治共愛の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援ベッド (エスパシア3モーター電動ベッド) パラマウントベッド(株) 製	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年12月6日	6台	30年9月6日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 終日トイレ誘導の必要な方や、昼夜逆転傾向にある方、立ち上がりが不安定でベッドから転落や転倒の危険性が高い入所者6名を対象に、常時使用している。 ・ 使用方法としては、対象者が <ul style="list-style-type: none"> ① ベッドから上体を起こした時 ② ベッドで端坐位をとった時 ③ ベッドから立ち上がった時 の3つの動作のうち、どれかが確認された際 ナースコールで確認できるよう設定した。 ・ 対象者に合わせて、動き始めのお知らせのタイミングを設定できることで、事故防止や介助のタイミング、毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化を図ることができている。 			
【介護ロボットの導入効果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までのベッド下に設置するセンサーマットとは違い、当該機器からの通知により、対象者の動き始めを知ることができるため、転倒や転落等の事故発生を未然に防ぐことができている。 導入し始めてから 転倒の事故について 20%程度の減につながっている。 ・ 特に 夜間帯での対象者の行動を把握することができるため、ユニットにおける 夜間従事者の安心感や見守り業務の効率化に効果がでている。 ・ 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (特別養護老人ホーム ひまわり邸)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams/アアムス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年10月15日	2台	30年10月15日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>利用者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（離床等）をアラートで知らせてくれ、また、モニターでの確認ができ、その都度職員が対応しています。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>重度で看取り時期の方で、職員が目視、巡回だけでなく、呼吸や心拍の状態をキャッチしてもらえることで職員の精神的、身体的負担の軽減を図ることができています。また、体調の変化も気付くことができ、早期発見、早期治療に結びつき、サービスの向上にもつながっています。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人開生会)

事業所名 (医療法人開生会老人保健施設ラベンダー)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り介護ロボット aams	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 11 月 30 日	10	平成 30 年 11 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・ 認知症等の方で転倒、転落のリスクの高い方
- ・ 医療依存度が高い方
- ・ 看取りケアが必要となった方
- ・ 新規入所の方 (一定期間使用し、睡眠状態、生活リズム等を把握)
- ・ 夜間の睡眠の状況を把握したい方 (トイレ誘導のタイミング等を知るため)

主に上記の方を対象に継続して使用し、分析・検証している

【介護ロボットの導入効果】

- ① 療養者様の急な状態・容態変化がアラート通知されることにより、速やかにご本人のもとに駆け付けることが可能であり、早期に現状把握を行うことで適切な対応につなげることができる
- ② 看取りケアへの活用においては、ご本人の呼吸・心拍等の変化をモニターでリアルタイムに確認し、今後起こりうる状態の変化を予測しながら職員間で情報の共有を行うことができる。そのためいよいよ人生の終焉を迎えられるご本人に、職員が冷静な判断と対応を行うことができ、それが職員個人の精神的不安の軽減にもつながっている。
- ③ 新規入所者の方の睡眠状態・行動パターンを分析・検証し夜間の事故防止対策や質の高い個別ケアを目指しケアプランにつなげることができる。
- ④ モニターで離床予測か体動であるかが確認できるため、素早く訪室し対応につなげることができる。不必要な訪室が減少することでストレスナーにならず、職員の見守り業務の負担軽減、業務の効率化につながっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 おかざき福社会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム かわいの里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りシステム		見守り支援システム「眠り SCAN」 (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
2018年12月	2台	2018年11月29日	年 月 日から 年 月 日まで	
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該機器を使用し、離床時に転落や転倒の危険性を軽減するために、ベッドから起き上がれるが、立位、歩行が安定しない方に対して、常時使用している。 ・夜間不眠の傾向が顕著な方等の、睡眠と覚醒のリズムをしっかりと把握することが必要な方に使用している。 ・終末期の利用者に使用し、覚醒状況、心拍数、呼吸数などを頻回な訪室をせずにモニタリングでき、利用者様の安静とスタッフの負担軽減を図っている。 ・データを保存し、定期的な話し合い・解析・検討を行っている。 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターでの状態確認ができるようになり、ラウンド業務の軽減だけではなく職員のストレス軽減にも繋がり、安心して仕事をするようになった。 ・特に夜間は職員数が少なくなるが、介護ロボットを導入したことで転倒リスクの危険性も今まで以上に減少している。 ・今までのセンサーマットは床設置のものであり、マットに触れなければ反応せずコールがあり居室に向かった際には、既に転倒されていたこともあった。 しかし、起き上がりに対しセンサーが反応するため 今までよりも早く居室に向かうことが可能になり、転倒事故を未然に防げた。 ・ご家族様に保存データ(履歴)を紹介することで、夜間帯や日常の詳細な情報を数字やデータ内容で理解していただくことができ、終末期(看取り期)の話し合いの参考資料とし、より具体的な話し合いができるようになった。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 社会福祉法人 八事福祉会
 事業所名 第二八事苑
 サービス種別 特別養護老人ホーム

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
セキュリティー型ロボット		ワンベッド 低床3モーターベッド 見守りセンサーM2付 FBR-N135 W1/W2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月28日	3台	平成30年11月7日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

ご入居者50名中、特にベッド上での体動が顕著なご入居者3名に使用。

1 A様 女性 70歳代 要介護4

時々活発に動かれ、その際ベッドより下りようとされる。下りようとされているか都度確認し、転倒を未然に防げるようにしている。

2 B様 女性 80歳代 要介護3

昼間はほぼ起きてみえる。夜間2～3回ほどトイレへ行こうとゴソゴソされることあり。都度確認し、転倒を未然に防げるようにしている。

3 C様 女性 80歳代 要介護3

昼間はほぼ起きてみえ、立ち上がりを急に行い転倒の危険性があるため車いす用センサーマットを使用している。夜間数回トイレに起きられゴソゴソされることあり。都度確認し、転倒を未然に防げるようにしている。

【介護ロボットの導入効果】

平成31年4月から令和2年3月までの間の効果。

1 起き上がり時にコールが鳴るため、いち早く気付いて対応できる。確認しに行く頻度を若干減らし対応できる。

2 端座位時にコールが鳴り、いち早く気づいて対応でき、転倒防止ができる。職員が確認に行く頻度を若干減らし対応できる

3 夜間、ベッド上での体動時にいち早く気づいて対応でき、転倒防止につながる。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人さわらび会)
 事業所名 (特別養護老人ホームさわらび荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		見守りライフ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年 9月28日	5台	平成30年 10月31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転倒の危険性が高い方について、1階に3台、2階に2台使用 ・ 状況に応じて、転倒リスクの高い方へ使用を実施している。 ・ 使用時ケアプラン等に記載を行い、ご家族等の同意を得ている。 ・ センサーマットも使用しているが、センサーマットではすでに入居者様は端座位になっている状態で反応をしていることから、転倒リスクが高い。そのため、起き上がり時に反応をするように設定することで、より早期の対応が可能となっている 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者の転倒等のヒヤリハット報告は0件 ・ 使用者の臥床中からの転倒、転落による事故発生状況は0件で継続中 ・ 協力病院以外の病院からの受入(新規、退院)について、新規入所時及び退院時受入の身体拘束廃止実施率100%達成 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

、
 ；

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 万里の会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム悠々の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠り SCAN」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 12 月 17 日	3 台	平成 30 年 12 月 17 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眠り SCAN を活用することにより、対象者の睡眠状態を把握し、また、睡眠リズムを理解することにより、転倒・転落を防止する。 ・睡眠状況をみながら起きている時間帯に排泄介助を行う。 ・看取り対象利用者に対しては主に夜間帯に睡眠、呼吸、心拍、動作状況をパソコン画面で確認し状態把握に努める。 ・利用者の状態を PC 画面でも確認している。 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の離床間隔や睡眠状況を把握し、家族への報告と介助内容の報告に役立っている。 ・睡眠の深さ、睡眠時間等のパターンの把握ができ、薬の調整や介護ケアの対応など次のアプローチの材料になる。 ・介護従事者の見守り業務の負担軽減や離床時の訪室など不用意な業務が軽減された。 ・目が覚めているときに介護することで、介護の優先順位付け、入居者の安全、安心、満足度の向上につながる。 ・入居者の生活リズムに合わせてサービスを提供することで、生活習慣の改善を図る。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)

事業所名 (看護小規模多機能型居宅介護ゆるり・あ)

サービス種別 (看護小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月1日	1台	平成30年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

○施設を初めて利用される方(宿泊利用時)に使用。

利用者の家族に使用の同意を得た上で一晩の睡眠状況(入眠から離床まで)を計測・分析。その結果を利用者の家族へ伝えるとともに、職員が夜間巡視や介護業務を行う参考とした。

○登録利用者の施設内での宿泊中(ショートステイ時)に使用。

1週間以上継続して利用している方(家族等の同意を得た方)を計測し、睡眠状況(入眠から離床まで)のパターンを分析。その結果を踏まえ施設利用時の生活全般において配慮すべき事項を把握し、職員等の夜間での巡視や介護の対応を行った。

【介護ロボットの導入効果】

○夜間の就寝状況を、担当するケアマネージャーやご家族等へ報告することにより、ショートステイ利用時以外での生活(自宅等)での就寝時の留意事項の参考として活用できた。

○利用者の就寝中の離床状況の要因(自ら起床?or転倒?など)を確認するのに寄与した。

○夜間の職員が就寝中の利用者を巡視する時間の目安にしているなど、負担軽減につながってきている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム設楽苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4台	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>A様女性(2018年9月より) 認知症状あり。端座位になり立ち上がることがあるため、動き出しで設定。</p> <p>B様男性(2019年5月より) 全盲、認知症状あり。排泄をもよおした時に端座位になり、ベッドサイドレールに掴まりつたい歩きをする。ナースコールはその都度説明しても認識してもらえず、動かれてしまう。転倒リスクが高い。端座位設定で始めたが動きが速いため、動き出しで設定変更。</p> <p>C様男性(2018年9月より) 認知症状あり。ベッドから床に降りようとする行為あり。動き出し設定にして継続使用している。ベッド上でのパッド交換時は、一時停止機能も活用している。</p> <p>D様男性(2018年12月より) 起き上がり1秒設定。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>A様 排泄をもよおした時の自覚があまり無くなったためか、端座位になることが随分と減ってきている。精神的に不安定な時にも端座位になることがある。機能低下が進み立位保持機能が低下してきており、転倒リスクは相変わらず高いが、導入後転倒事故はない。効果あり。</p> <p>B様 寝返りだけのこともあるが端座位から立ち上がる前に対応できるようになった。+効果。</p> <p>C様 ベッドのセンサーが反応時は、すぐに様子を伺う等の対応ができ、床に降りてしまう事は無くなった。足をベッドから投げ出す行為は現在も頻回に確認されているが、定時巡回時と、ベッドセンサー反応時の訪室で対応できているため職員への負担は軽減されている。派生效果としてパッド交換のタイミングも判りやすくなっており効果は大きい。</p> <p>D様 センサーコール作動時の対応で、起き上がり前に訪室できるようになり転落事故なしで生活されている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム岡崎苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4台	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>①夜間、自分で起き上がることが多く、転倒の恐れがある方にセンサーベッドを使用している。</p> <p>②ベッドから立上り、転倒の危険性がある入居者様に対して使用している。(起き上がり3秒)</p> <p>③認知症で夜間急に動き出す可能性のある方に使用していた。令和1年11月に転倒、骨折された(日中、フロアにて)骨折されて以降も、行動に予測がつかないため使用している。</p> <p>④歩行状態が悪くなり、杖歩行からR車いすとなったが、自分で生活動作をしている方に使用している。(端座位設定)</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①起き上がり3秒で反応するようセットし、ベッド横の車いすに移乗する前に訪室でき、ケガや転倒防止に役立っている。</p> <p>②設定により、ベッドから立ち上がる前、体の上半身を起こした時点でセンサーが反応するため、立ち上がる前に駆けつけることが可能な場面が増えた。</p> <p>③骨折される前は、歩行が不安定ながらも自分で歩いていたため、夜間センサーが反応することがあり、訪室していた。(数か月に1回程度) 骨折された後は、自分で起き上がろうとすることは無く、センサーの反応はない。</p> <p>④日中、夜間を通じベッド⇄車いす移動時、ベッドセンサーが反応するため、見守りや介助を行え、転倒予防に役立っている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム一宮苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒、転落リスクの高い利用者 ・歩行能力はあるが付き添いなしでは転倒リスクが高いためナースコールを利用するよう伝えるが押さず自ら行動されるため転倒リスクが高い利用者 ・転落の危険性が高いが理解が十分できず自分で行いたい思いが強い利用者 ・シルバーカー使用し自力歩行されるが転倒リスクが高い利用者 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルで操作がしやすい。 ・センサーマットより早いタイミングを設定することができるため早期に対応できる。 ・動き出しからの感知が早いため、すぐに対応できる。 ・「立ち上がり」の設定で利用した場合、端座位から立ち上がりまでに時間がかかる利用者については、腰を上げてセンサーが反応するため、タイミングよく対応できた。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム瀬戸苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動き始めからベッド離床までの経過時間が非常に速いため、動きがある際は早急に駆けつける必要がある入居者様。(センサー設定「起き上がり」) ・自分でベッド上で動くことが頻回にある方。その行為は危険ではないが、端座位になった際は立ち上がり行為があり、その動きも速く歩行が不安定な入居者様(センサー設定「端座位」) ・端座位までは自身で安全に行うことができるが、立ち上がり後の歩行が非常に不安定な方。(センサー設定「離床」) 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>導入前は、足元センサーで対応していたが、足元センサーでは入居者様の状況によってはすでにベッドからずり落ちてしまってからセンサーが鳴動することがあり、事故をセンサー鳴動により知る状況であった。導入したことにより職員が事前に対応することができ、事故が減少した。職員の心理的な面でも負担軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム佐屋苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年9月29日	4台	平成30年9月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>車イス使用者で立位不安定であるが、夜間ベッドからポータブルトイレへ移乗しようとして転落事故のあった利用者。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し触っただけでナースコールになる為、日中に同室者が本人のベッドに触る事が無くなった。 ・センサー反応があってから訪室しても大抵は立ち上がる前に到着できるため、気持ちに余裕が出た。居室での事故はあったが現在なし。 ・センサーマット使用時は端座位の状態であったが、導入後は職員の負担軽減を図ることが出来た。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム小牧苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>対象者4名に使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上での動きがあり、転落等の危険がある。 ・ベッド・車椅子間の移乗動作に介助が必要であるが、自力で行ってしまい転倒の危険がある。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドサイドの床にセンサーマットを使用しなくて良い為、出し入れの作業が軽減された。 ・様々な設定ができる為、状態の変化に合わせて変更が可能である。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム大府苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性 66歳 要介護4 認知症あり、ふらつきあり、転倒の危険性がある。夜間トイレ誘導が必要な利用者様。センサーマットを避けてしまう。反対側から離床してしまう。R1.12月21日転倒事故発生。その後の対策でセンサーベッド・エスパシア使用。 ・男性 72歳 要介護3 認知症があり、膀胱全摘出、人口膀胱、尿管ステント留置。夜間ステントを外してしまう。R1.7月～エスパシア使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端坐位で設定後、コール対応できるようになった。R2.1月28日現在事故なし。 ・端坐位で設定後、コール対応できるようになった。R2.1月28日現在、尿器を使って2時間おきに排尿する対応をするようになり終了。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム東郷苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4台	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症があるが、シルバーカー使用で歩行可能な女性に使用。排泄動作も自立しているが失禁が多く、ベッド横の床に放尿することもあった。転倒のリスクは低い、他の居室へ入り他者のベッドで寝てしまうことがある。また以前に無断外出したこともあり、見守り・所在確認が必要。 ・ベッドから離れて3分後にベッドへ戻らないと、センサー作動するよう設定している。 ・平成31年4月に入所。移動、移乗は車椅子。、夜間ベッド上の動きがあり、時々ベッドに端坐位になっていることがあり、センサーマットを使用したがる反対側から降りて向かいの人のベッドに座っていたこともあり、夜間の動きを確認するために使用した。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーマットを使用していた時は、一晩に20回程センサー作動していたが、エスパシアを使用してから数回に減少している。センサーマット使用時はセンサー作動毎に訪室すると、本人が「なにー」と介護員を気にしたり怒ったりしていたが、訪室回数が少なくなり、本人・同室者の安眠を妨げることがなくなった。 ・センサーマットと比較し、床に配線がないためシルバーカーが引っかかったり、躓いたりすることがない。またセンサーマットに放尿した際、センサーマットがずれたりセンサーマットごと滑ることがあったが、床が濡れていることが分かりやすいため直ぐに拭くことができ、改善されている。 ・床清掃・センサーマット消毒に手間がかかっていたが、軽減されている。 ・他の居室へ入り他者のベッドで寝ることがなくなり、所在確認できている。 ・見守りベッド使用する事により、ベッド上の動きや、端坐位になる前につけられることができ転倒、転落するようなことが無かった。 			

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ナースコールを押すことが難しい方でベッドからの転落、転倒の危険がある利用者様に対して、センサーベッドとして使用。</p> <p>多動でベッドから転落の危険がある利用者様。立位困難であるが理解できず、ご自分で車いすに移乗しようとする利用者様。首の亜脱臼があり転倒などの外傷で大事に至ってしまう危険のある利用者様に使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者様ごとにセンサーの設定を決めることができるため、利用者様の行動を著しく制限することなく対応することができ、ベッドからの転落、転倒事故が減少した。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム西尾苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りシステム		エスパシア (パラマウントベッド社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
2018年9月29日	4	2018年9月28日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>① 歩くことはできないが、トイレに行きたい等の理由でベッドや車椅子から降りて四つ這いで動き出すことが多い。臥床時の動き出しに対応できるようにセンサーベッドを導入することにした。起き上がり1秒で終日使用</p> <p>② ベッドから頻回に降りることがあったので使用した。端座位5秒で終日使用</p> <p>③ 以前、畳に布団を敷いていたが、床からの車椅子移乗が本人・職員にとって負担が大きかった。ベッドの使用を考えた時、数年前にベッドから転落したことがありリスクありと考えた。センサーベッドを導入することで動き出す前に訪室できれば事故が防げると考えた。端座位になった時にセンサーが反応するように設定</p> <p>④ ベッドからの転落、転倒を防止するために導入した。寝返りで設定し、昼夜問わず臥床時使用。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>① 臥床していてトイレに行きたい理由で動き出すことが多くセンサーが反応するのでトイレ案内に役に立っている。センサーが反応するまでは動いていないことがわかり安心して他の介助等ができる。</p> <p>② 端座位になって立ち上がる前に発見できた。他入居者の介助を終えてからセンサーが鳴ったため居室へ駆けつけた際、サイドレールを伝って移動していたがセンサーのおかげで転倒前に気付けた。</p> <p>③ 起きたことが分かり、立ち上がった歩き出す前に訪室でき転倒防止につながり職員も安心することができた。</p> <p>④ 頻回な様子観察が減った。転倒・転落がなくなり未然に防ぐことができています。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること